

12月「師走」になりました！

先日まで、「暑い、暑い」と言っていたのが、あっという間に寒くなり、そして今日から「師走」となりました。お坊様や先生をはじめ、たくさんの人々が走り回るような大忙しの月です。ただ、本校に関していえば、「師」もですが「弟」である子ども達、特に6年生は実際に中学校受験が始まり、大忙しの時期になりました。これまでの学びを整えて、本番の受験で力を発揮してほしいと思います。

お知らせ

○個人懇談、よろしくお願いします（1～5年生）

先月には、入試を控えた6年生の個人懇談を行いました。担任と受験に向けての具体的なお話をさせていただいたことと思います。ご都合をつけてくださり、ありがとうございました。そして、今月の8日（月）～12日（金）は、1～5年生の個人懇談を行います。ご多用の中、お時間をとっていただくこととなりますが、お子様の生活の様子、学習の様子などを担任としっかりお話いただければと思います。何卒よろしくお願い致します。



感じたことから

○“自由”と“信用（「至心」への“責任”）”

12月に入り、今月末になれば「冬休み」が待っています。子ども達はきっとこの「冬休み」を楽しみにしていることと思います。それは、「冬休み」や「夏休み」には“自由”がたくさんあるからに他なりません。強制されるものもなく、『自分の思い通りに行動できる』と思っていることでしょう。子ども達にはこの“自由”を是非、満喫してほしいものです。

ただし、“自由”は天秤の片側であり、その反対に載せて釣り合わせるものがあります。それは……“信用”ではないかと思ひます。“自由”は“信用”のバランスの上で成立します（図1）。“信用”がなければ“自由”を与えることはできません。極端な例で言えば、犯罪者が刑務所に入って“自由”に生活できないのは“信用”が失われているからに他なりません。

大きな“自由”を手に入れたければ大きな“信用”を築かないといけません（図2）。それとは反対に、“信用”が得られなくなってくると、自ずと“自由”は小さく制限されることとなります（図3）。

さらに、この“信用”と直結しているものが“責任”です。そしてそれが何に対する“責任”かということ、本校の建学の精神「至心」で言うところの「自分を大切にする“責任”」であり「他者を大切にする“責任”」です。

日常生活において、いつまでもやらなければならないことに取り組めなかったり（「自分を大切にする“責任”」を果たしていない姿）、騒いで周りの人に迷惑をかけたり（「他者を大切にする“責任”」を果たしていない姿）していると、自ずと“信用”は失われ、“自由”も制限されます。

逆に、任せておいてもちゃんと自分のことをしっかりできたり（「自分を大切にする“責任”」を果たしている姿）、周りのことを考えた行動を取ったり（「他者を大切にする“責任”」を果たしている姿）していると、“信用”は膨らみ、大きな“自由”を手にすることができるようでしょう。

すなわち、自他を大切にする“責任”を果たさず、“信用”に足らない行動を繰り返していると、“自由”は制限され、自分自身を苦しめてしまうことになりかねません。子ども達にはこのような姿になってほしくはありません。

しかしながら、残念なことにこの“信用”を失わせるような行動を取ってしまう子がいるのも事実です。毎回、宿題をしてこなかったり、授業中に騒いで一生懸命に勉強したい子の集中を妨げたり……。残念でなりません。私達のスタンスは、子ども達を“信用”して教育を施すことにあります。是非、「“信用”に足る自分をつくり上げよう」という気持ちをもって、「自分を大切に」「他者を大切に」毎日をしっかり過ごし、“自由”な姿で物事を成し遂げてほしいと思っています。

